

議会報告会報告書

開催日時	平成31年4月19日（金）午後7時00分～8時35分	
開催場所	中川コミュニティセンター	
出席議員	堀端 脩、殿村 峰代、田中 正浩、米倉 芳周、中村 良子 山本 芳敬、山本 節	
	司会進行者	山本 節
	報告者	米倉 芳周、山本 節、山本 芳敬、堀端 脩 中村 良子
	記録者	米倉 芳周
参加人数	14名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中島清晴様

平成31年4月23日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第1班

代表者 堀端 脩

【第一部の主な質疑応答・意見等】

問 住民協議会と自治連合会の整合性はどのように整理されたのか。

答 現在、進行中である。住民協議会と自治連合会とで意見調整を行っている。「融合」という表現を用いているが、組織の一本化、予算の一元化にむけて、もうすぐ、結論が出される予定である。

問 水害に対する防災について、雲出川及びその支流の赤川の対策が一向に進んでいない。どのようになっているのか。

答 命に係わることなので、議会としても認識している。国、県の管轄であるので、確認する。

第2部【住みよいまちづくりについての主な質疑・意見】

問 嬉野の釜生田地区の県道の工事が10年以上継続していて、一向に進んでいない。当初は5年で完了と聞いていたが、状況はどのように。道が狭く、トラックが行き交うので、大変危険で市民の生活に支障をきたしている。

答 県へ工事状況、工事計画を確認する。

問 プールの運営、体育祭等に際しての、学校の夏場の暑さ対策についてはどのように。

答 今期、9月よりエアコンが全ての小中学校に設置される。プールの運営に関しては、自主運営も含めて、今後の課題となる。

問 嬉野地域振興局の地域住民課へ行くと、混雑が目立つ。また、各課での対応で、担当者がいないので、わからないという返事が多い。職員が少なくなっている状況下、サービスの低下になっている。議会としてどのように考えているのか。

答 職員の数が減り、職員自身もジレンマに陥っていると考え。振興局で税務の申請もできなくなった等、市民も不便を感じていると思う。市へ現状を伝える。

問 市担当者との要望の相談の際、必ず、「予算がない」という文言を発する。これは、言わないようにするべきではないか。「予算がない」という文言を発することを禁止とした自治体もあると聞く。

答 竹上市政になり、予算の組み方が変わったことも要因と考える。あまり補正予算を出さないようにする「年間総合予算」としていることから、「予算の計上をしていない」イコール「予算がない」ということになるのではないかと。しかし、本来は案件を確認し、「検討する」ことが正しい対応である。市へ伝える。

問 白猪山の「風力発電建設計画」について、中郷地区から下の地域は、何も知らない。建設となれば、この地域も影響があるので広報をしてはいかがか。

答 この件については、環境審議会で議論され、そのことは公表されるが、事業そのものは、民間の事案であることから公表されない。議会では一般質問等で活発に議論されているので、この地域の方も注目していただきたい。

問 障がい児に係わる保育士の確保を切に願う。研修等を通じて活躍できるようにすることにより、結果、保育園運営の幅も広がるのでは。

答 全国的に保育士の絶対数が少ないのが実情である。「そだちの丘」でも保育士の確保に苦慮している。また、市は、現在、再就職者も含め、研修を強化し障がい児対応の保育士の養成も実施しているが、現状は厳しい。良い方向へと努力していく。